

平成22年度 第11回病院局経営戦略会議概要

日 時：平成23年2月16日（水） 午後3時00分～午後4時40分
場 所：県庁10階 企業局会議室
出席者：病院局 病院事業管理者，病院局長，経営企画課長，
総合メディカルゾーン推進担当室長 ほか
病院 三好病院長，海部病院長，中央病院副院長，
各病院看護局長 ほか

(1) 平成22年度決算見込（12月末）について

【説明】病院局経営企画課 予算企画担当

平成22年度の決算見込（12月末）について説明する。

【質疑等】

管理者：退職給与金の引当ができるまでに経営体力がついてきた。中央病院と海部病院が頑張ってくれている。三好病院は少し苦しかったが、最近は入院患者が190人を超えるようになっている。県立病院は「3つで1つ」、本局も含めて「4つで1つ」の精神でやってくれている。何度も言っているが、「単年度決算が赤字か黒字か」はもはや問題ではなく、「内部留保資金をいくら貯めることができたか」に焦点を当てなければならない。12月末時点で内部留保資金は約33億円あるが、これは約37億円の他会計借入金を借りての33億円であり、実際は33億円－37億円＝実質内部留保資金はマイナス4億円である。つまり、親から借りて生活している状態である。病院はもう大人なのだから、本来ならば、自立しなくてはならない。目標は減価償却が始まる平成25年度までに、マイナス4億円の实質内部留保資金をゼロにして、内部留保資金を40億にすること。平成25年度までは平成23、24年度の2年間と平成22年度も決算期間にしてあと3か月ある。

管理者：過去の決算額を見ると、地方公営企業法全部適用（全適）後のみではなく、平成12年度から職員が頑張ってくれている。“人から人へ、世代から世代へ”ができているのがグラフから分かる。ただ、グラフの傾きは全適後とそれ以前とでは全然違う。また、近年の医師不足の中でも、傾きが全適前より急で、逆風でも踏みとどまってくれた。足元もしっかりしている。ただ、知事の決断で職員定数が845から985になったがまだ足りない、これからもっと必要になるという人員の問題がある中で、経営面・医療面をともに考慮しながら、「次の世代のために県立病院がどうあるべきか」をしっかりと考える必要がある。

管理者：経営基盤の強化は、決して疎かにできない大切なことではあるが、目

的ではなく、あくまで手段である。しかし、それは数字となって分かりやすい形で現れてくる。経営がしっかりしていると、中央病院・三好病院の改築等についても反対の声が出にくくなる。一方で、医療の質の向上は数字となって現れにくい。そのあたりをどう表現して、県民の共感を得ていくかが大事だ。

(2) 新ユニフォームについて

【説明】 病院局経営企画課 予算企画担当

平成23年4月から着用する次期ユニフォームの選定結果について報告する。

【質疑等】

中央病院：1人当たり何枚か。

病院局：5枚。

中央病院：医療技術員の古いユニフォームについては回収してくれるのか。

病院局：各病院で処分していただくようになる。

中央病院：女性看護師の古いユニフォームの処分は、リース業者にしてもらった。ユニフォームの処分も条件に入れていた。

病院局：ユニフォームの処分については検討したいと思う。

海部病院：アフリカの人に上げたらどうか。

海部病院：エコの観点からも。

海部病院：看護師が今着ている分については、業者が引き上げてくれるのか。

病院局：女性看護師のユニフォームについては、リースなので従来どおりになる。

海部病院：今回のコスト削減に看護師のユニフォームは含まれていないと思うが、看護師のユニフォームについてもコスト削減できていたのか。

病院局：はい、導入当初の効果は大きかったが、今回は大きな差はない。

病院局：平成23年4月から次期ユニフォームを着用することになっているので、また協力をお願いしたい。

(3) 診療報酬の請求漏れ対策（精度管理）について

【説明】 中央病院

中央病院では、「診療報酬検討部会」における取組、定期的実施している研修（勉強会）等について説明する。

【説明】 三好病院

三好病院は保険請求精度調査、医事業者の取組及びレセプト委員会の活動内容について説明する。

【説明】海部病院

海部病院は診療報酬請求の適正化・効率化対策として、レセプト査定対策、施設基準対策、DPC対策等について説明する。

【質疑等】

三好病院：中央病院の「診療報酬検討部会」には医師が入っているみたいだが、参加率はどのくらいか。

中央病院：各診療科の副科長に出席してもらっている。

三好病院：三好病院は医師がほとんど出ていないのが現状。

中央病院：科ごとに時間差をおいて行っている。そのため、夜中までかかることもある。

海部病院：救急の算定割合はどうカウントしているのか。

中央病院：救急の受入れ数に対して、算定できたかどうか。

海部病院：医事課はどのようにかかわっているのか。実際のところ、海部病院は委託に任せきりである。

中央病院：実際の請求は委託に任せているが、分析を頑張るようにしている。

管理者：海部病院は医事課と委託業者が月1回話し合いをしている。中央病院と三好病院についても、そうしようと言ったけど、どうなっているのか。

中央病院：定期的にやっている。

海部病院：レセプト委員会や外来部門連絡会もそうだが、医事課のすぐ隣に委託業者がいるので、やりとりしやすいのが大きいと思う。

管理者：ほかの病院は「DPC革命」を導入してないのか。

海部病院：ニチイのものなので。

海部病院：医師と診療情報管理士で考え方に違いがあり、意識改革が必要だと思う。DPCでは、1番医療資源を投じたものにしないと損になる。

管理者：診療報酬が入ってくるのが1か月、2か月遅れると大変なことになる。民間病院なら経営危機になる。ちゃんと請求してやってもらいたい。

(4) その他

・次月分の病院局戦略会議の議題について

【説明】病院局経営企画課 経営戦略担当

次月分の「経営戦略会議」の議題について説明する。

【質疑等】

病院局：薬価交渉については、12月末まで全国水準を維持していたが、交渉によって3月に全国水準を下回ることになった。平成23年1～3月は新価格になって約900万円の節減ができた。来年度の参考価格にもなる。管理者からは薬価交渉には薬剤師も加わるように言われていたが、交渉がスムーズにいったため、日

程調整をしていただいている段階で終わってしまった。来年度の交渉については、事務にはない知恵を貸してほしいと思う。

病院局：最近、鳴門市の民間病院で火災が発生し、また、三好病院でも不審火があった。各病院においては、再度防火体制をチェックし、火災等が起こらないようにしてほしい。